

令和4年4月20日理事会第1号議案
令和4年度定時総会報告事項

「令和3年度事業報告書」

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

◆事業活動の基本方針

武雄法人会は公益法人化10年目となる令和3年度も、地域における「税のオピニオンリーダー」として「よき経営者をめざすものの団体」を標榜すると共に、「会員の積極的な自己啓発を支援」し、「納税意識の高揚・向上」と「企業経営および地域社会の健全な発展に貢献する」という基本方針に則り、親会はもとより、青年部・女性部会の活動をより活性化させ、会員と関係団体さらには地域の皆様と協力・連携して各種事業活動を遂行してまいりました。

公益法人格としての社会的な立場に留意しつつも、会員組織としての二面性にも配慮しつつ活動を行いました。

とりわけ全国的にも、また県内においても会員数の減少に歯止めがかからぬ中、法人会の存在意義を根底から深く掘り下げ、会員のメリットの追及に力点を置いた、開かれた法人会として地道な活動に力点を置いてまいりました。

その結果、8年連続して今期も会員数の増強を達成することが出来ました。次年度も引き続き常に武雄法人会の設立理念を根底に見据え、日々の地道な活動に邁進して活力溢れる法人会としての事業遂行に努力してまいりたいと思います。

◆主な事業報告

I. 公益目的事業関係

1. 税知識の普及を目的とする事業（公1）

小学生の頃より「税」に親しんで理解を深めて貰うべく、当会青年部・女性部会員で構成される社会貢献プロジェクト委員会を中心に、毎年武雄税務署管内の小学校

の6年生を対象とした租税教室・税の絵はがきコンクールを開催しています。

今年度は令和3年6月2日に武雄市立西川登小学校(11名)、6月4日に嬉野市立五町田小学校(30名)、6月8日に白石町立須古小学校(17名)、6月16日に白石小学校(26名)、の4校で合計84名の児童を対象に、夫々開催致しました。租税教室は税務署で「租税教室講師養成研修会」を受講した青年部の租税教育活動委員会会員の授業主導の下、アニメなども教材に使いながら、税で支えられている社会の仕組みを判り易く教えるものです。また教材として全法連が作成した税の啓発用漫画冊子「タックスファンドとけんた君」を、実施した4校の児童に配布、さらに武雄税務署にも租税教室のテキストとして合計2500冊を配布致しました。

さらに、女性部会が主体となって開催する「税に関する絵はがきコンクール」を上記の4校で実施、合計83点の作品応募が寄せられました。

例年通りに、武雄税務署署長様、国税統括官様、当会会長、女性部、青年部の部会員さんと、外部の学識経験者を交え、厳正な審査の結果、各小学校毎に最優秀作品1点、武雄税務署署長賞1点、優秀作品2点、入賞作品7~8点を選出し、最優秀作品は県連審査会を経て九州北部法人会連合会で審査を受けました。

それぞれの小学校の入賞作品については、女性部・青年部から部会員が出席して校長室等で表彰式を行い、賞状と記念品を贈らせて頂きました。さらに優秀作品については対象となった小学校の近くの金融機関、郵便局、学校に1か月程展示し、武雄税務署様の入り口に確定申告時から掲示をさせて頂いております。

また、納税貯蓄組合連合会が主催するコンクールの作文審査を青年部のサポートを仰ぎながら、女性部会が主体となって実施しております。今年度は管内中学校19校の内7校から応募がありました。3年生を対象として原稿用紙を配布し、夏休み明けに回収された応募作品は498編でした。納税貯蓄組合連合会会長のご指導の下、税に関する独創的な体験、税に対する感謝や思いの表現力、文章の構成力、共感性など多角的な観点から採点を行いました。第一次選考で10編の作文に絞り込み、選考の結果上位5編を入賞としました。尚、上位2編の作文につきましては佐賀県連合会へ上申しています。

2. 税務知識の高揚を目的とする事業（公1）

（1）税務研修会

税務知識の習得は企業における、よりよき経営の必須条件であるばかりでなく、正しい申告納税制度を推進させることにも寄与する大切な仕事であることから、年に一回の割合で、武雄税務署と共催で、「新設法人説明会」を開催しています。令和3年度は18社のご参加を頂きました。新設法人に対する法人会計の説明をDVD等で行いましたが、当会への入会アプローチが今後の課題であり、次年度はさらに相応しい取り組みを行いたいと思います。

また武雄税務署法人課税部門のご協力を得て、四半期に一度の頻度で「決算事務説明会」を開催しており、令和3年度は会員企業85名、非会員企業30名、合計115名の参加を頂きました。当会よりその際には全法連が策定した「税務コンプライアンスチェックシート・入門編」を配布して、その活用についての説明を致しました。

10支部にまたがる支部研修会は、例年武雄税務署各部門のご担当様などを講師にお迎えして地域毎に開催しておりますが、昨年度と今年度は各支部で講師を選定して頂き4名の講師へお願いして研修会を開催致しました。講師とテーマは以下の通りです。税理士法人とみなが会計 税理士 富永正嗣氏「管理会計・会社と役員間の取引における税務上の留意点」「自社株式の評価・企業のM&A」について、井手社会保険労務士 井手静雄氏「職場のいじめや無自覚パワハラを撲滅するために」について、司法書士法人 アドヴァンス 土井大史氏「相続の手続きと新しい遺言書制度」について、白石町町長 田島健一氏「令和3年8月豪雨を踏まえて」会員企業より206名、非会員企業より19名の合計225名のご参加を頂きました。

また、毎年11月の第二週に開催される「税を考える週間」に協調する意味から、武雄税務署長様を講師としてお迎えして、当会より青年部会、女性部会会員及び武雄間税会との共催による合同税務研修会を開催し、市川清史税務署長様より「税務行政の将来像の2.0」と題して、ご講演を38名の参加で拝聴致しました。

(2) 広報事業

税の広報誌として「ほうじん武雄」を毎年8月と1月の二回にわたり定期的に発行しておりますが、今年度も編集方針を「もっと身近な会報へ」と常に見直しを行い、会員企業訪問シリーズや、顧問弁護士、顧問社会保険労務士による専門知識の習得に結び付く連載随筆などを掲載し、さらに法人会の活動報告等も写真やレイアウトに工夫を凝らし、親しみ易くまた見易く致しました。また国が提唱するe-Tax(国税電子申告・納税システム、軽減税率の周知活動)の普及についても関連記事の掲載を行っています。今年度は、夏期63号冬期64号を発行致しました。発行部数2100部のうち会員向けに1200部を発送し、市役所・町役場・金融機関・商工会議所・商工会などに一般向けとして900部を配布しています。また全法連発行の「ほうじん」は季報として年4回夫々1600部発行されておりますが、「ほうじん武雄」と同様に配布しております。

さらに、当会のホームページを利用した税の啓蒙活動につきましても、支部研修会、決算事務説明会、租税教室、税を考える週間などにおける活動状況を頻繁に更新して紹介し、広く情報公開しております。

3. 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業（公1）

令和4年度税制改正に関するアンケート調査の実施については、当会税制委員会委員を始めとして、役員、九州北部税理士会武雄支部、青年部・女性部会員、一般会員からランダムに抽出して本会より30名の回答を得ました。これらの意見を包含して、令和4年度税制改正要望事項の検討については、県連税制委員会により佐賀県単位会の総意として要望事項が取り纏められました。その意見集約された提言は法人会全国大会において、採択された要望事項が発表されています。

また、12月に当会の会長、税制委員長、事務局で令和4年度の税制改正提言書を、管内の自治体（武雄市・鹿島市・嬉野市）の首長・議会議長を訪問し直接手渡しして、税制改正提言へのご理解と法人会活動へのご協力を要請致しました。

4. 地域社会への貢献事業（公2）

（1）公開講演会

5月19日定時総会時の公開講演会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止させて頂きました。

11月12日税を考える週間記念講演会として演題「心で走る」のテーマで、日本長距離界マラソンブームを牽引してきた第一人者「瀬古利彦氏」をお招きして開催致しました。聴講者は、会員99名、一般81名、合計180名でした。

2月21日「落語家 林家三平師匠」をお招きして「笑いと人生」というテーマで新春公開講演会を開催しました。聴講者は会員104名、一般107名、合計211名でした。

広報手段として当会広報誌、新聞掲載、チラシ配布、管内地域のケーブルテレビ各社で告知をお願いし、また当会ホームページにも掲載するなどして、広く一般の方々にも周知を図りました。

（2）アルモニア管弦楽団演奏会の開催

令和3年度の地域社会貢献活動の一環として青年部・女性部会員を中心として、白石町立有明南小学校（児童数107名・父兄12名）と、白石町立有明中学校（生徒数215名・父兄25名）総合計322名、父兄他37名の参加となり、例年通り近隣の小中2校で開催致しました。

演奏会の冒頭青年部会員より「税の大切さ」などのショート講話を行い、福岡・佐賀のプロの管弦楽集団であるアルモニア管弦楽団（代表久原興民氏他11名）の素晴らしいクラシック音楽の生演奏を、約40分間お聴き頂きました。生の演奏に初めて接した児童の多くから感動の声が聞かれました。最後の演奏曲はいつもの開催学校の校歌なのですが、例外なく全員で大斉唱となるのが生演奏の力でしょう。今年度も堂々と声高らかに校歌斉唱をされまして、素晴らしく感じました。

(3) 愛の献血運動

献血運動は、本会の地域貢献活動の一環としてこれまで継続事業として積極的に取り組んでまいりましたが、今年度で 23 年目となり、地域の皆様に法人会の献血運動と定着するまでになりました。今年度は武雄市、鹿島市、嬉野市の 3 地区 3 会場で当会の女性部など、延べスタッフ 16 名の動員で行い、受付者 373 名、献血者 328 名の実績でした。なお毎年、献血にお見えになった皆様には、当会より箱ティッシュ 5 箱・甘納豆・佐賀県米の新米などをプレゼントさせて頂いておりますが、今年度も大好評を博しました。

(4) 新作カレンダーバザー展への寄贈事業

毎年の年末に佐賀市で開催されている赤い羽根共同募金会主催の「新作カレンダーバザー展」については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。

5. 地域企業の健全な発展を目的とする事業（公 2）

実務研修会（新社会人セミナー・パソコン教室）の開催

(1) 新社会人セミナー

令和 3 年度と同セミナーのテーマは、「知って得するビジネスマナー」と題して「接客・接遇・職場でのマナー向上」を実践的にセミナー形式で開催、管内企業の社員教育の一環と致しました。今年度は会員企業より 60 名の参加を頂きました。講師の招聘では東京都より 道(株) 代表取締役 自覚真由美先生にお願いして好評を博しております。

(2) パソコン教室の開催

社員教育の一環として、パソコンスキルアップ「ワード」・「エクセル」・「YouTube」の実践的なビジネス活用を目指した講習会を三日間連続して実施致しました。マンツーマン方式で、三日間で延べ 50 名の参加を頂きました。講師は今年度も (有)イツデモ 社長 田代真一氏にお願い致しました。

(3) 経営者セミナー

(公財)日本電信電話ユーザ協会様との共催で 2022 年度スタートダッシュ準備セミナーをオンラインセミナー方式で開催しました。

テーマは、「IT 活用による旅館改革への挑戦」

講師は、株式会社 陣屋「鶴巻温泉 元湯陣屋」代表取締役 女将 宮崎知子氏

参加者は、会員 15 名・一般 76 名の合計 91 名でした。

Ⅱ、収益事業関係

1、会員企業の福利厚生に関する事業（他 1）

法人会企業の企業保全と人材保障に備える法人会の福利厚生事業として以下の制度の普及拡大を図りました。当会役員の紹介活動にも注力して紹介者には佐賀牛をプレゼントするなど、特に関係団体との連携を強化継続中です。また事務局からも会員企業訪問を兼ねて担当の推進員との帯同訪問を致しました。

- (1) 経営者大型保障制度の普及推進
- (2) ビジネスガードの普及推進
- (3) がん保険制度・医療保険制度の普及推進
- (4) 貸倒保障制度（取引信用保険）の普及推進

2、会員支援のための親睦・交流等に関する事業（他 2）

(1) 青年部会視察研修・女性部会視察研修会の実施

①青年部会視察研修

「全国青年の集い佐賀大会」開催を前に、会場である佐賀市文化会館と体育館現地視察を兼ねて、鳥栖市の「中富記念くすり博物館」へ研修視察旅行を実施しました。

②女性部会視察研修

唐津市の井上絹織(株)へ工場視察旅行を実施しました。

会員同士の親睦交流を深め、絆を確認しました。

(2) 異業種交流会

大人数密集で飲食を伴うために、異業種交流会は見送りました。
状況を見ながら再開を計画していきたいと思っております。

(3) 法人会ゴルフコンペ

第7回武雄法人会会員向けチャリティゴルフコンペ

大会実行委員長山口健一氏の指揮の下、10月20日武雄嬉野国際カントリークラブで90名の参加により開催しました。当日は晴天に恵まれ、参加者全員日頃の練習の成果を遺憾なく発揮されました。今年度もチャリティーホールでの収益金42,100円を当会の会員でもある武雄市社会福祉協議会へ寄贈させて頂きました。令和4年度大会は10月に予定しております。

Ⅲ、公益収益事業の詳細並びに会員、青年部・女性部会員、支部別会員、福利厚生制度の推移について

税知識の普及と高揚を目的とする事業、税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業、地域社会への貢献事業、地域企業の健全な発展を目的とする事業

並びに主催した会議、出席した会議、及び青年部・女性部会員の活動等の詳細につきましては、別紙の事業報告の付属明細書をご確認ください。

また、当会の会員数、青年部・女性部の会員数、福利厚生制度の推移につきましては、別紙グラフに掲載しておりますので、ご確認ください。